

ミニリフトスリングR ミニリフトシートスリングR 取扱説明書

ThoraxSling
SystemRoMedic®



まえがき

このたびは、ミニリフトスリングR・ミニリフトシートスリングR（以下、スリングシート）をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」には、スリングシートを安全にお使いいただくための注意事項などを記載しています。

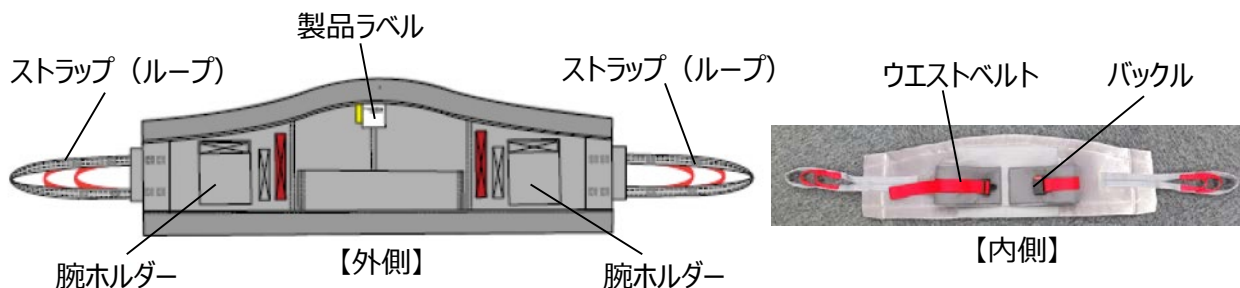
ご使用前に、この取扱説明書およびスリングシートと併用する立ちあがりリフト（ミニリフト125：KZ-A69700/69710）（以下、立ちあがりリフト）の取扱説明書をよくお読みいただき、スリングシートを正しく効果的にお使いください。

【用途・特長】

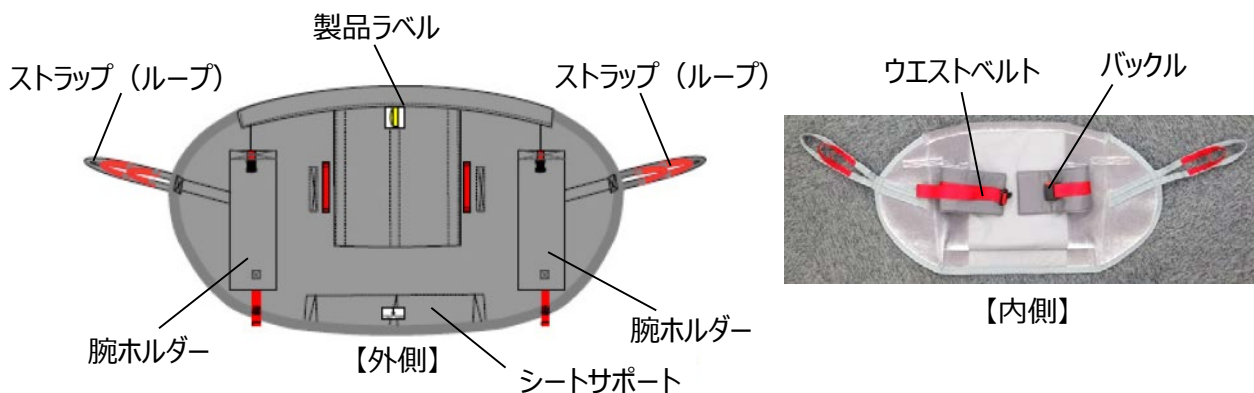
このスリングシートは立ちあがりリフト専用で、立ちあがりやトイレ移動時に使用するスリングシートです。ミニリフトスリングRにはXS～XXL、ミニリフトシートスリングRにはS～XLのサイズがあり、介護を受ける方の体型や状況に応じて選ぶことができます。

【各部の名称】

ミニリフトスリングR（KZ-A7291*）



ミニリフトシートスリングR（KZ-A7292*）



【使用する前の確認事項】

- 介護を受ける方が不快感を持つことや、スリングシートから滑り落ちる危険を防ぐため、立ちあがりリフトの試運転とスリングシートの試用を行ってください。
- 安全に使用するため、スリングシートと併用する立ちあがりリフトの安全動作荷重125kg（1220N）を超えて使用しないでください。ご不明な点は、販売店または弊社までご連絡ください。

Direct Healthcare
製造元：Group

Advancing Movement & Health®

輸入・販売元：パラマウントベッド株式会社

【安全に使用するための注意事項】

■ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や損害を未然に防止するためのものです。必ず守ってください。

※取扱説明書をお読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。



けい
こく
警 告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷（骨折・圧迫・麻痺^{まひ}など）を負う可能性が想定される内容を示しています。

■漂白剤は使用しないでください

- スリングシートが破損・変形して、けがをするおそれがあります。

■スリングシートが破損（ほつれなど）した場合は、直ちに使用を中止してください

- 思わぬけがをするおそれがあります。

■安全動作荷重を超える方を引っ張りあげないでください

- スリングシートが破損・変形して、けがをするおそれがあります。
- 使用する立ちあがりリフトにも安全動作荷重が定められています。立ちあがりリフトの安全動作荷重を超える方を引っ張りあげないでください。立ちあがりリフトが破損・変形して、けがをするおそれがあります。

■スリングシートは正しく装着してください

- 介護を受ける方を引っ張りあげたときに介護を受ける方がスリングシートから抜け落ちたり、皮膚がこすれたりするなどしてけがをするおそれがあります。

■スリングシートのストラップ（ループ）は、立ちあがりリフトのリフトアームフックに確実に掛けてください

- ストラップ（ループ）が確実に掛かっていない状態で立ちあがりリフトを操作すると、スリングシートから落下して、けがをするおそれがあります。

■使用後、スリングシートが当たっていた背中などの皮膚に変化があれば、直ちに使用を中止し、医師の診断を受けてください

- 思わぬけがをするおそれがあります。

■スリングシートは、介護を受ける方の身体に適したものをご使用ください。スリングシートの選択に際しては、専門の医師や理学療法士、作業療法士などに相談してください

- 介護を受ける方にあつたスリングシートを使用しないと、思わぬけがをしたり、皮膚に異常が起こったりするおそれがあります。

■介護を受ける方の身体の大きさにあつた適切なサイズのスリングシートを使用してください

- サイズのあわないものを使用すると、正しい引っ張りあげ姿勢がとれないばかりでなく、落下してけがをするおそれがあります。

■引っ張りあげたときにスリングシートが、車いすなどに引っ掛かっていないことを確認して、立ちあがりリフトを操作してください

- スリングシートが破損したり、バランスを崩し思わぬけがをしたりするおそれがあります。

■スリングシートに火気や先のとがったものを近づけないでください

- スリングシートの近くで熱器具を使用しないでください。変質・変形・火災のおそれがあります。
- スリングシートが破損するおそれがあります。

■使用前（使用後）に点検を行ってください

- スリングシートは消耗品です。使用前（使用後）には、スリングシートに亀裂や裂け目、縫い目のほつれが無いかどうか点検してください。亀裂や裂け目、縫い目のほつれがあると、使用中に思わぬけがをするおそれがあります。



ちゅう
い
注 意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷（打撲・すり傷・切り傷など）を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ストラップ（ループ）はねじれなどがないように、立ちあがりリフトのリフトアームフックに掛けてください

- ストラップにねじれがあると左右の長さが変わり、立ちあがりリフトで引っ張りあげた際に身体が傾き、背中への圧迫の原因となります。

■介護を受ける方を長時間引っ張りあげないでください

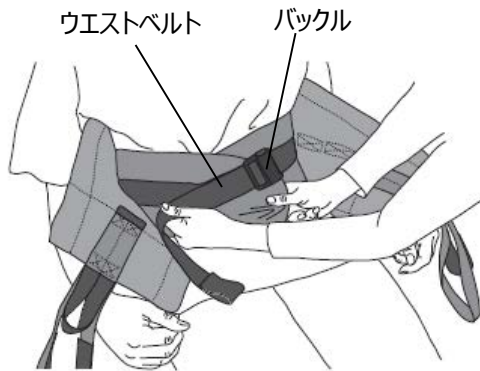
- 長時間の引っ張りあげは介護を受ける方の身体の負担となり、症状を悪化させるおそれがあります。

【使用方法】

- ご使用にあたり、理学療法士・作業療法士などの専門家もしくはお買い上げの販売店にご相談いただき、スリングシートを正しく使用してください。

＜使用前の点検＞

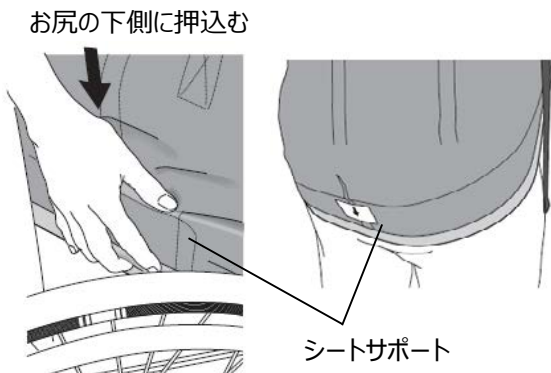
- 使用する前に、スリングシートに傷や破損がないことを確認してください。



装着のしかた <ミニリフトスリングRの場合>

- ①スリングシートの製品ラベルが外側になるように、スリングシートを介護を受ける方の背中側に置いてください。
- ②スリングシートのウエストベルトを介護を受ける方の腹部側に回し、バックルでしっかりと固定してください。

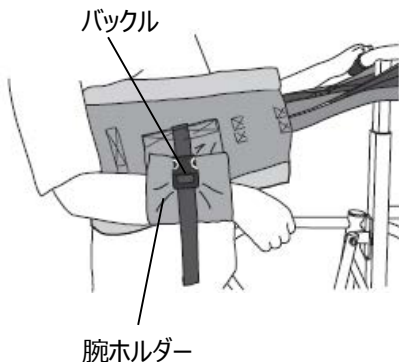
装着のしかた <ミニリフトシートスリングRの場合>



- ①スリングシートの製品ラベルが外側になるように、スリングシートを介護を受ける方の背中側に置いてください。
- ②スリングシート下部のシートサポート部分を、介護を受ける方のお尻の下側に来るように手で押込んでください。
- ③スリングシートのウエストベルトを介護を受ける方の腹部側に回し、バックルでしっかりと固定してください。

腕ホルダーについて

- 介護を受ける方が肩関節症などにより腕の支えが必要な場合は、スリングシートの左右についている腕ホルダーを使用することができます。
バックルをしっかりと固定した後、介護を受ける方の腕を腕ホルダーに差込んでください。



立ちあがりリフトへの取付けかた

- 立ちあがりリフトの取扱説明書を参照してください。

【お手入れ】



液温85℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯ができます。
60～85℃が推奨温度です。

60～85℃



ドライクリーニングはできません。



漂白剤は使用できません。



アイロンがけはできません。



乾燥機を使用する場合は、低い温度設定（60℃）で乾燥してください。



スリングシートを洗浄後は、縫い目や素材に傷がないか、布地が擦切れていないかを確認してください。

【仕様】

品名	ミニリフトスリングR					
品番	KZ-A72911	KZ-A72912	KZ-A72913	KZ-A72914	KZ-A72915	KZ-A72916
サイズ	XS (橙)	S (赤)	M (黄)	L (緑)	XL (紫)	XXL (白)
胴回り寸法 (cm)	85	94	104	124	146	170
製品質量 (kg)	0.55	0.65	0.75	0.85	0.95	1.05
安全動作荷重 (kg)	※スリングシートと併用する立ちあがりリフトの安全動作荷重に従って使用してください					
耐荷重(kg)	300					
材質	ポリエステル					

品名	ミニリフトシートスリングR			
品番	KZ-A72921	KZ-A72922	KZ-A72923	KZ-A72924
サイズ	S (赤)	M (黄)	L (緑)	XL (紫)
胴回り寸法 (cm)	85	94	104	124
製品質量 (kg)	0.85	0.9	1.05	1.2
安全動作荷重 (kg)	※スリングシートと併用する立ちあがりリフトの安全動作荷重に従って使用してください			
耐荷重(kg)	300			
材質	ポリエステル			

商品に関するお問い合わせ

<パラマウントベッド株式会社>

パラマウントベッド株式会社

本社 〒136-8670 東京都江東区東砂 2丁目14番5号 ☎(03)3648-1111(大代)
東京支店 〒136-8670 東京都江東区東砂 2丁目14番5号 ☎(03)3648-1171(代)
札幌支店 〒060-0062 札幌市中央区南2条西13丁目318番地11 ☎(011)271-1181(代)
仙台支店 〒984-0015 仙台市若林区卸町2丁目3番地の3 ☎(022)239-5211(代)
さいたま支店 〒336-0967 さいたま市緑区美園3丁目23番1 ☎(048)878-0100(代)
横浜支店 〒194-0004 東京都町田市鶴間5丁目3番33号 ☎(042)795-8800(代)
名古屋支店 〒461-0001 名古屋市東区泉1丁目20番17号 ☎(052)963-0600(代)
大阪支店 〒550-0001 大阪市西区土佐堀2丁目3番33号 ☎(06)6443-8791(代)
広島支店 〒733-0011 広島市西区横川町3丁目8番5号 ☎(082)293-1311(代)
福岡支店 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号 ☎(092)461-1131(代)